令和５年２月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和５年２月１６日（木）
２．開 催 日 時　令和５年２月２８日（火）　１４時１５分～１６時００分
３．開 催 場 所　ハイブリッド方式（対面，オンラインを併用）
対面：ビジョンセンター田町 ２階 D 室
［東京都港区芝５－３１－１９ ラウンドクロス田町２階］
オンライン：ZOOM による Web 会議システム
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１８人（対面出席８名、Web 会議システムによる出席１０人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名
（対面）嶋崎 利行、曽根 光彰、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、横山 聡洋、
平井 英次、川村 道夫
（Web）齊藤 基樹、池田 隆久、大屋 和雄、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、
富居 博治、竹内 博次、藤田 亮則、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
（Web）川崎一郎、秦　研二
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入賛助会員について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、加入申込のあった新規加入賛助会員１社について資料に基づき、報告があった。

賛助会員　大陽日酸株式会社 北関東支社　　加入年月日：令和５年１月１日
執行役員支社長 成田 昌信
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区桜木町１丁目１１番地５ KS ビル３F
TEL：048-646-0061(代)、FAX：048-646-0065
資本金 150,000 万円、常時雇用従業員 1478 名
営業品目 産業ガス事業　※中部組合及び西部組合で賛助会員

※組合員数７９社、賛助会員数４４社、計１２３社

嶋崎議長は、賛助会員の加入について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、２月１０日現在収支の実績について報告があった。

嶋崎議長から、節目の５０周年ということで、格式の高いホテルを使用し、記念式典と祝賀会を分離開催で行ったため、費用が膨らんでしまったことの説明があり、今後引き締めて運営して行きたい旨、説明があった。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　外国人実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、昨年１１月、１２月に行われた試行試験からの進捗状況について報告があった。試行試験後、一般社団法人日本金属熱処理工業会で外国人技能実習機構からの指摘事項に対応を行った結果、３月２０日（月）に厚生労働省の第４回専門家会議で移行対象職種としての適否の判断がされることになった。認定された場合に試験監督者２０名の選出などが必要になって来ることの説明があった。

嶋崎議長から、試行試験の際に横山理事をはじめ模擬受検者を派遣いただいたことについて謝辞が述べられた。第４回専門家会議に至るまでの経緯と第４回専門家会議で「適」と判断されて省令が改正され、晴れて評価試験及び評価試験実施機関として日本金属熱処理工業会が認定されることの説明があった。

田村理事から、実際に評価試験を行う際は、出張方式で行われるかの確認と試験監督者の２０名は東部のみでの人数になるのかの質問があり、嶋崎議長から出張方式で行われることと東部地区で２０名を選出することになると回答があった。

田村理事から、出張方式で行う場合に企業毎に試験で使用する機器が違うと考えられ、その場合はどう対応するのかと質問があり、嶋崎議長から原則その企業のものを使用して行うことになるが、詳細は今後詰めて行くことになると説明があった。

田村理事から、試行試験に携わった際に使用した「ハードネスター」は、自社では使用していないので、横山理事から「初級」の試験で硬さ試験機の代わりに使用することになっているが、企業に無い場合は運営する側で用意することになる。また浸炭層、脱炭層の測定試験で使用するスケール付きの倒立型顕微鏡の用意も考えられる。

田村理事から、試験監督者の勉強会が必要と考えられると意見があり、横山理事から試行試験で首席試験監督者が中心になって勉強会を行う構想があると説明があった。

嶋崎議長から、今後検討して指針を作って行くことになると説明があった。

玉木副理事長から、試行試験の方法が基本になって行くが、今後立ち上がる工業会の評価委員会や試験委員会で規約等を規定して行くことになると説明があった。

嶋崎議長から、本番に向けて改善して行くことになると説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　インボイス制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、当組合が免税事業者であることから１０月１日の施行まで経過措置があるので、対応を検討して行きたいと説明があった。

原田理事から、会計事務所の意見について質問があり、安室専務理事から対応について相

談しているが、しばらく様子を見て良いのではないかと説明を受けていると回答があった。
田村理事から、東京都中小企業団体中央会に相談したら、方向性が見えるのではないかと意見があり、事務局から確認することになる。
嶋崎議長から、正副理事長会でも検討したが、講習会はハイブリッド型で開催するため、会場費用が高くつくので、受講料の値上げも考えないといけないと意見があったことの説明があった。
上島理事から、１０月まで組合で検討するという理解で良いのかと質問があり、嶋崎議長から、インボイス制度のメリットとデメリットを考えて判断して行きたいと意見があった。
後藤理事から、免税事業者とした場合と課税事業者とした場合のそれぞれ「組合」と「組合員」としてメリットデメリットとを明確に示せる資料が無いと分からないと質問があり、嶋崎議長から、現在資料はないので、中部組合や西部組合の動向も含めて検討して行きたいと説明があった。
斎藤理事から、組合が免税事業者となった場合に組合員が関係してくるのは受講料やJISガイドブック位の消費税の負担だと思うが、組合員企業によっては、免税事業者と付き合わないという風潮があるので、講習会の申込みが減ってしまうのではないかと心配していると意見があった。
嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　令和５年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和５年度事業計画案について説明があった。主な内容は次に通り

・新年賀詞交歓会は、日本金属熱処理工業会と共催での開催
・正副理事長会・理事会は年６回開催予定
・賛助会員 PR 会の開催
・第５２回通常総会は、５月２２日（月）から２５日（木）の間で検討している。

嶋崎議長から、第８期東京工業大学の製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマースター」は定員２０名に対して最低１８名の申込みが無いと開催しないことになっていて現在１６名の申込みとなっていることの説明があり、是非受講について検討して欲しいと要請があった。
嶋崎議長は、令和５年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１月１８日（水）、１９日（木）、東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO 2022」（東京都中小企業団体中央会主催）について概略の説明があった。

・ブースに２日間で約１５０人の来場があり、熱処理に興味を示した方が約８０名。
・予算５０万円（９月の理事会で３０万円増額承認）に対して支出が約４３万円。
・令和５年度開催予定が、令和５年１１月８日（水）、９日（木）。

田村部会長から、詳細な報告があった。

・平日開催だったため若い世代の方が来なかった。
・ブースデザインも良く、目立っていた。ブース位置も角で片方が開いていたので良かった。

・熱処理品のサンプルと映像の提供について謝辞が述べられた。
・初めてにしては、熱処理のPRが出来たのではないか、次回も運営は青年部会で行うので、組合としての参加をお願いしたい。
・運営に参加したメンバーで反省会を行い、次回に向けての意見交換を行った。
・今回作成したターポリン素材とテーブルクロスは、次回以降もしばらく使用できる。
・来年度も予算計上をお願いしたい。

嶋崎議長から、発信をしていくことが大事で、熱処理に興味を示す方々が多くいるので、今回の様に「日本刀」「玉鋼」を使用したのは分かり易くて良かったと述べられ、業界のためにも必要と感じた。

嶋崎議長から、業界の将来を考えた具体的かつ柔軟な活動を進めて行って欲しいと述べられた。

事務局が撮影した映像（準備、PR状況）を視聴した。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第７号議案　各委員会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１月１１日開催の技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

〇第６回品質活動発表会について

顧客監査対応意見交換会とう主旨で開催することになったこと。

実際に昨日２７日（月）にハイブリッド型で開催し、対面とオンラインのグループでそれぞれ討議を行った。

〇ISO14001 内部監査員養成研修会のハイブリッド型での開始結果について

藤田品質委員長が会場からオンライン参加のグループに加わり、グループ討議の進行を行った。次回以降も同様の開催で検討したい。

〇令和５年度の事業計画について

・初級熱処理塾：令和５年４月１０日（月）から２１日（金）、ハイブリッド型、受講申込受付中。
・中級熱処理塾、実践型熱処理塾、技能検定試験受験対策講習会及び製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」。

〇委員会は、年５回開催予定。開催方法について今後検討する。

〇BCP 推進 WG 活動報告（３月９日第３回開催予定）

〇工業会の外国人技能実習制度の経過報告

横山技術委員長から、技能検定受験対策講習会の講師の交代について触れられ、安室専務理事から、元パーカーS・N 工業㈱の星野　薫氏から日本テクノ㈱の中岡真悟氏に代わることの報告があった。

藤田品質委員長から、ISO 内部監査養成研修会で行ったハイブリッド型でのオンラインと対面で行ったグループ演習について報告があり、遠方の方も参加しやすいと考えられるので、今後も実施して行きたいと説明があった。

嶋崎議長から、昨日行われた顧客監査対応意見交換会について斬新な内容であったと説明があり、藤田品質委員長から、顧客監査のテーマについて対面とオンラインのグループ分かれて意見交換を行い、それぞれ発表を行うという形で行ったが、時間配分が難しかったと反省点について報告があった。

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、２月９日（木）に開催した総務委員会主催の第２回 SDGs セミナーについて、参加者のアンケート結果について報告があった。参加者からは、どのように取組んで行くべきかを知りたかった点、特にカーボンニュートラルへの取組について知りたかったと意見が多かったことの説明があった。

曽根副理事長から、ハイブリッド型での開催だったので参加者が多かった点と SDGs というよりはカーボンニュートラルについての関心事が多かったと説明があり、３月３日開催の総務委員会で今回の結果を踏まえて今後の進め方について検討したいと述べられた。

続いて安室専務理事から、２月１４日開催のマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。

主な内容については、

〇令和５年度の事業計画について

開催方法（リアル型、オンライン型、ハイブリッド型）について意見交換を行い、来年度１回目の５月については、オンライン開催として、７月はリアル開催で検討することになる。

〇売上高調査結果について

売上高については回復傾向にあるが、エネルギーコストの上昇が収益を圧迫している。

玉木副理事長から、２月１０日開催の工業会のマーケティング委員会について報告があった。他地区の状況として、西部地区が他地区より電気代が安いことの報告があり、ガス・電気とも高い東部地区としては、取引先に更なる値上げ交渉が必要なことと価格転嫁に応じない企業名を公正取引委員会が公表したように、今後もそのような動きが加速して行くのではないかと意見が述べられた。

嶋崎議長から、委員会の活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第８号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、１月２３日に行われた「第９回ものづくり日本大賞」の表彰式について報告があった。

続いて、東京工業大学と産学連携で行っている製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」と令和５年度「初級熱処理塾」について説明があり、参加について要請があった。

次に組合員及び賛助会員の異動と１１月に開催される「第２８回熱処理国際会議」に関して（一社）日本熱処理技術協会から工業会を通じて募金協力が来ていることの報告があった。

嶋崎議長から、（一社）日本熱処理技術協会とは、協力関係にあることの説明があり、募金協力についてお願いがあった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和５年２月２８日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　秦　研二　㊞